

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32213	道後温泉活性化事業	産業経済部	道後温泉事務所	2
32213	道後温泉地域振興事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	3
32213	道後村まつり事業補助事業	産業経済部	道後温泉事務所	4
32221	浴場管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	5
32221	物品販売事業	産業経済部	道後温泉事務所	6
32221	源泉管理事業	産業経済部	道後温泉事務所	7
32221	源泉井戸及び分湯場施設改修事業	産業経済部	道後温泉事務所	8
44121	道後温泉本館保存修理寄附推進事業	産業経済部	道後温泉事務所	9
44121	道後温泉本館保存修理事業	産業経済部	道後温泉事務所	10

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉活性化担当	連絡先	921-0101	
部長等名	西村 秀典	課等長名	水田 隆敏	リーダー	泉 正三	担当	楠元 圭	徳岡 秀俊

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉活性化事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	観光産業の振興						
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	道後温泉活性化計画他				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化						
目的・背景	目的:観光客数の減少や保存修理工事期間中の経済的影響を緩和する必要があるため「道後温泉活性化計画」、「魅力の向上、賑わい創りの総合的対策」、「道後温泉本館工事計画の基本方針」などに基づき、道後温泉地区を活性化する取組を行う。 背景:観光地間競争の激化や、道後温泉本館の保存修理工事に伴い観光産業や地域経済への影響が懸念されている。						
対象・内容	・平成27年5月に「道後温泉活性化計画」及び「魅力向上・賑わい創りの総合的な対策」を、平成28年10月には「道後温泉本館工事計画の基本方針」を策定し、本館保存修理工事による経済的影響緩和に向けた取組を行う。 ・未来へつなぐ道後まちづくり実行委員会へ負担金を交付し、道後温泉本館保存修理工事期間中、「道後アート事業」と「観光資源化事業」の特徴を活かし、統一したコンセプトで「未来へつなぐ道後まちづくり事業」に地域全体で取り組み、本館保存修理工事による経済的影響を緩和させる。 ・地元団体(道後温泉旅館協同組合・道後商店街振興組合・道後温泉誇れるまちづくり推進協議会)に「道後温泉活性化まちづくり促進補助金」「伊佐庭知矢顕彰事業」などを通して補助金や負担金を交付し、道後温泉の賑わい創出を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	商工費	目	商工振興費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	負担金(未来へつなぐ道後まちづくり事業開催等負担金等)		130,995
予算 (千円)	事業費計	158,632	158,531	64,619			委託料(道後温泉外湯3館魅力発信事業業務委託等)	9,315	
	国費・県費	62,985	58,500	2,000					
	市債								
	その他	57,500	60,000						
	一般財源	38,147	40,031	62,619		需用費(ガイドマップなどの印刷製本費等)	3,396		
決算 (千円)	事業費計	152,216	148,531			主な 取組 内容 【R5】	・未来へつなぐ道後まちづくり事業「道後アート2023」を開催し、アート作品の展示やクラフトミュージアム等を実施した。 ・持続可能な道後温泉協議会産官学が連携し、ひみつジャナイ基地の運営やフィールドワーク、体験イベント等の開催により賑わい創出やSDGsの推進に取り組んだ。		
	国費・県費	63,951	39,727						
	市債								
	その他	58,500	61,500						
	一般財源	29,765	47,304						
	(執行率)	96%	94%						
人役	正規職員	6.0	5.0	5.0		特記 事項			
	その他	1.0							
	合計	7.0	5.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	イベント・企画 (実施数)		目標	—	—	20	20	道後温泉本館改築130周年・工事完了記念事業や、持続可能な道後温泉協議会など、活性化に関するイベント・企画の実施数を活動指標とし、道後温泉地区の魅力向上を図る。	
			実績	116	62				
	現状維持	件	達成率	—	—				
成果指標	道後地区の宿泊者数		目標	800,000	800,000	800,000	800,000	道後温泉地区の魅力高め、話題性や賑わいの創出に努めた結果、コロナ禍前の状況に戻りつつある。	
			実績	687,982	776,087				
	単年で増	人	達成率	86%	97%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	平成24年度より事業を予算化し、「道後温泉活性化計画」などに基づいて道後温泉地区への誘客に取り組み、本市観光客数の増加に努めている。時期を逸することなく各種プロジェクトやアート作品展示などを実施し、道後温泉本館保存修理工事の観光資源化、道後温泉地区の魅力創出、関係人口拡大の取組などを積極的に進めることができた。							
課題	インバウンドを含む観光需要が高まる中、観光地の地域間競争が激しくなる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	引き続き、道後温泉ならではの魅力づくりや話題性の創出に取り組み、道後温泉地区の賑わいを生み出し、本市や道後への誘客につなげるため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	岡林 彩	

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉地域振興事業補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—			
施策	観光産業の振興		—	—			
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	松山市補助金等交付規則、道後温泉地域振興事業補助金交付要綱				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化						
目的・背景	目的:道後温泉振興事業にかかる初子祭に対して、補助金を支出し、道後温泉及び道後地区の発展と活性化を図るとともに、市民や観光客に憩いの場を提供するため。 背景:道後を代表する伝統行事である初子祭を保存・継承していくとともに、道後温泉の活性化を図るため。						
対象・内容	道後温泉地域振興会に対して補助を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費(千円) 【R5 決算】	補助金		450
予算 (千円)	事業費計	450	450	450					
	国費・県費								
	市債								
	その他	450	450	450					
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	450	450			主な取組 内容 【R5】	道後温泉地域振興事業補助金の交付		
	国費・県費								
	市債								
	その他	450	450						
	一般財源								
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	特になし		
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	参加人数		目標	5,000	5,000	5,000	5,000	初子祭が開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため	
			実績	10,000	10,000				
	単年で増	人	達成率	200.0%	200.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後地域の活性化及び観光客の誘致、また、地域住民や松山市民の憩いの場を提供することができたため。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	岡林 彩	

1.事業概要【Plan】

事業名	道後村まつり事業補助事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32213							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—			
施策	観光産業の振興		—	—			
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	松山市補助金交付規則、道後村まつり事業補助事業補助金交付要綱				
取組みの柱	道後温泉地域の活性化						
目的・背景	目的:道後夜市等を開催する道後村まつり事業に対して、補助金を支出し、道後温泉及び道後地域の発展及び活性化を図るとともに、市民及び観光客に憩いの場を提供するため。 背景:道後夜市等が開催される道後村まつりを通じて、行政と道後地域住民が一体となって道後温泉の活性化を図るため。						
対象・内容	道後村まつり実行委員会に対して、補助を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	総務管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	補助金		230
予算 (千円)	事業費計	230	230	230					
	国費・県費								
	市債								
	その他	230	230	230					
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	230	230			主な 取組 内容 【R5】	道後村まつりの補助金の交付		
	国費・県費								
	市債								
	その他	230	230						
	一般財源								
	(執行率)	100%	100%						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	特になし		
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	村まつり開催時の 商店街利用者数		目標	5,000	5,000	5,000	5,000	道後村まつりが開催され、地域住民や市民、観光客の方々が多く参加されたため	
			実績	7,400	9,000				
	単年で増	人	達成率	148.0%	180.0%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後地域の活性化及び観光客の誘致、また、地域住民や松山市民の憩いの場を提供することができたため							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	道後温泉地域の伝統行事を保存、継承するため

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	089-921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	鈴木 拓人	

1.事業概要【Plan】

事業名	浴場管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興		—	—	—	—	
主な取組	受入体制の整備	根拠法令	松山市道後温泉事業施設の設置及び管理に関する条例				
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	目的:道後温泉本館などの効率的な運営を行うとともに、来館者が気持ちよく施設を利用できる環境を整える。 背景:道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。						
対象・内容	道後温泉本館の利用者に対し、入浴などのサービスを提供する。効率的な運営を図るため、道後温泉本館の運営を業務委託している。また、飛鳥乃湯泉と椿の湯の運営は、指定管理者制度を導入している。 入浴用物品、チケットの印刷等、施設利用者にサービスを提供するための事業を実施。道後温泉本館は、キャリアサポート株式会社へ委託料を支出、飛鳥乃湯泉と椿の湯は道後温泉コンソーシアムに指定管理料を支出。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	浴場管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	道後温泉別館等指定管理料		303,981
予算 (千円)	事業費計	543,903	531,700	756,007			本館管理業務委託料		115,093
	国費・県費								
	市債								
	その他	543,903	531,700	756,007			本館清掃業務委託料		9,874
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	454,238	474,320			主な取組 内容 【R5】	道後温泉3館の効率的な運営に取り組む。 浴場に必要な物品等の調達、清掃や施設の 営繕工事などを行う。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	454,238	474,320						
	一般財源								
	(執行率)	84%	89%						
人役	正規職員	6.0	6.0	6.0		特記 事項			
	その他	1.0	1.0	2.0					
	合計	7.0	7.0	8.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	浴場使用料		目標	286,900	342,400	766,277	912,760	人数制限の見直しや保存修理工事中なら ではのPRを展開し、来館者の満足度の向 上に努めたため	
			実績	322,870	412,409				
	単年で増	千円	達成率	112.5%	120.4%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	人数制限の見直しや保存修理工事中ならではのPRを展開し、来館者の満足度の向上に努めた。							
課題	約5年半ぶりに道後温泉本館が全館営業再開するため、道後温泉3館のサービス向上や3館の周遊策の強化が必要					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	令和6年7月11日より3館あわせて指定管理者制度を導入するため

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	089-921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	鈴木 拓人	

1.事業概要【Plan】

事業名	物品販売事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32221		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
基本目標			—	—	—	—	
政策							
施策							
主な取組	受入体制の整備	根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	目的:道後温泉本館の入浴客に対するサービスとして、タオルや石鹸等の入浴用品を販売し、満足度向上を図るとともに収益を上げるため。 背景:入浴客のニーズに対応したサービス提供及び入浴記念としての商品販売を開始した。						
対象・内容	入浴客向けに売店商品を販売するために、売店商品の仕入れを行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	浴場管理費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	消耗品費(売店商品の仕 入れ)		10,480
予算 (千円)	事業費計	6,960	12,271	16,298					
	国費・県費								
	市債								
	その他	6,960	12,271	16,298					
	一般財源								
決算 (千円)	事業費計	6,740	11,559			主な 取組 内容 【R5】	タオル、石鹸等の入浴用品を仕入・販売す る		
	国費・県費								
	市債								
	その他	6,740	11,559						
	一般財源								
	(執行率)	97%	94%						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他	1.0	1.0	1.0					
	合計	3.0	3.0	3.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	売店売上金(本館)		目標	10,061	11,700	20,711	20,711	道後温泉本館内売店等で入浴用品を販売するほか、みかん石けんなど本館オリジナル商品を販売し、道後温泉ブランドのPRIに努めたため	
			実績	14,563	23,393				
	単年で増	千円	達成率	144.7%	199.9%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	道後温泉本館内売店等で入浴用品を販売するほか、みかん石けんなど本館オリジナル商品を販売し、道後温泉ブランドのPRIに努めた。							
課題	特になし					今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	令和6年7月11日より指定管理者制度を導入するため

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	施設管理担当	連絡先	921-5151	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	山田 豊樹	担当	中川 裕介	小泉 直之

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—			
施策	観光産業の振興		—	—			
主な取組	受入体制の整備	根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	目的:道後温泉に来られた市民や観光客の方々心地よく利用していただくため、源泉の安定供給が出来るよう源泉設備を整備すること。 背景:道後温泉本館など公営公衆浴場を財産区から松山市に編入し運営している。						
対象・内容	既存源泉18力所及び既設分湯場の4力所を対象として、安定的な源泉管理及び維持管理を図る。 道後温泉第2分湯場上がり湯ポンプ修繕工事の工事請負費を支出 そのほか源泉管理に必要な修繕に工事請負費を支出						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	施設整備費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	光熱水費		12,034
予算 (千円)	事業費計	36,760	48,840	42,676			工事請負費		9,556
	国費・県費								
	市債								
	その他	36,760	48,840	42,676			委託料		7,889
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	33,482	31,884			主な取組 内容 【R5】	内湯へ安定的に源泉を供給するために18 力所ある源泉の延命化と維持管理及び突 発的な修繕対応など		
	国費・県費								
	市債								
	その他	33,482	31,884						
	一般財源								
	(執行率)	91%	65%						
人役	正規職員	5.0	4.0	4.0		特記 事項			
	その他								
	合計	5.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	1日あたり設備点検 実施回数		目標	2	2	2	2	委託による点検及び日々の簡易点検ともに、年間を通じて予定通り実施し、予防保全に努めた。	
			実績	2	2				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	設備の突発的な故障に対処し、突発故障を極力抑えるために、予防保全を計画的に実施することで、源泉の安定供給につなげた。							
課題	源泉井戸及び分湯場施設改修事業で予防保全的な設備更新を実施し、突発的な費用の縮減につなげる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	源泉の安定供給を行うために突発的な修繕は少なからず発生するため、現行のまま計画を維持し、費用縮減に努める。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	施設管理担当	連絡先	921-5151	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	山田 豊樹	担当	中川 裕介	小泉 直之

1.事業概要【Plan】

事業名	源泉井戸及び分湯場施設改修事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
32221							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		—	—			
施策	観光産業の振興		—	—			
主な取組	受入体制の整備	根拠法令					
取組みの柱	おもてなしの場の充実						
目的・背景	目的:老朽化している源泉井戸及び分湯場を順次改修することにより、温泉の湯湯量を確保すること。 背景:平成20年度に「道後温泉源泉井戸及び配湯施設改良基本計画」10ヵ年分を策定、令和2年度に、「道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修実施計画」12ヵ年分を策定し、老朽化した源泉や分湯場の改修を計画的にすすめている。						
対象・内容	既存源泉18カ所及び既設分湯場の4カ所を対象として、安定的な源泉管理及び維持管理を図る。 そのほか源泉管理に必要な修繕に工事請負費を支出						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	源泉管理事業
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	工事請負費		5,329
予算 (千円)	事業費計	8,500	12,000	47,900					
	国費・県費								
	市債								
	その他	8,500	12,000	47,900					
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	8,483	5,329			主な 取組 内容 【R5】	道後温泉第3号源泉の水中ポンプ取替、第2分湯場の高圧受変電盤の改修工事等源泉や分湯場の機器類の更新を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	8,483	5,329						
	一般財源								
	(執行率)	100%	44%						
人役	正規職員	5.0	4.0	4.0		特記 事項			
	その他								
	合計	5.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和13年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修実施計画の実施		目標	2	2	5	22	予定していた工事は完了することができた。	
			実績	0	2				
	現状維持	回	達成率	0%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	突発の故障を対応したが、道後温泉源泉井戸及び配湯施設等の改修実施計画については翌年度以降に実施する。							
課題	物価高騰や設備の突発故障などで一部計画と乖離が出てきている。					今後の 方向性	一部見直し	左記の 理由	突発の故障を対応しながら、一部修正を予定する。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	道後温泉経営担当	連絡先	921-5141	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	三神 正裕	担当	濱井 里穂	

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉本館保存修理寄附推進事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
44121								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む							
施策	文化遺産の継承			—	—	—	—	
主な取組	道後温泉本館の保存修理		根拠法令					
取組みの柱	道後温泉本館保存修理							
目的・背景	目的:道後温泉本館保存修理工事に要する経費について、市内外に広く寄附を募り、本市が誇る国の重要文化財を未来に遺す機運の醸成を図る。 背景:平成31年1月以降より、準備が整い次第着手される道後温泉本館保存修理工事に要する一般会計負担見込額の部分的な軽減を図るとともに、工事期間中に遠隔地からの誘客促進を図る必要があることから開始した。							
対象・内容	道後温泉本館保存に賛同していただける市内外の方を対象に寄附を募る。 ふるさと納税とクラウドファンディングを活用し、市内外に広く寄附を募るとともに、返礼品として、入浴優待券や道後温泉地区の旅館・ホテルの宿泊券等を進呈することで、誘客や地域経済の活性化につなげていく。また、工事の進捗などの情報発信を行う。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	商工費	項	観光費	目	観光総務費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な経費 (千円) 【R5 決算】	クラウドファンディングサイト利用等手数料		497
予算 (千円)	事業費計	6,247	4,977	500			返礼品購入費		256
	国費・県費						返礼品等の郵送料		110
	市債								
	その他								
	一般財源	6,247	4,977	500					
決算 (千円)	事業費計	1,223	921			主な取組 内容 【R5】	・返礼品等の送付 ・チラシ、SNS等を活用し、広報活動		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,223	921						
	(執行率)	20%	19%						
人役	正規職員	2.0	2.0	1.0		特記事項	寄附額が増加した場合に速やかに返礼品の発送等を行うため予算を実績より多く見込んでいたため		
	その他	1.0	2.0	1.0					
	合計	3.0	4.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	寄附額		目標	5,000,000	5,000,000	-	-	返礼品の魅力向上を図るため低額コースを新設するなど、寄附の増加に向けて努めた。	
			実績	5,218,555	4,893,000				
	単年で増	円	達成率	104.4%	97.9%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	SNSやホームページを活用して、クラウドファンディングが「最終年度」であることや道後温泉本館保存修理工事の情報発信を行ったほか、新たに5千円のコースや1万5千円のコースを設けるなど返礼品のコースを増やすことで、寄附の増加に向け努めた。その結果、多額の寄附に繋がったほか、本市が誇る国の重要文化財を未来に遺す機運の醸成に繋げることができたため。							
課題	令和6年度に保存修理工事が完了予定であり、令和5年度にクラウドファンディングを終了するため課題はない。					今後の方向性	終期到来による廃止	左記の理由	令和6年度に保存修理工事が完了するため。

令和6年度 松山市事務事業シート（令和5年度実績分）

部局等名	産業経済部	課等名	道後温泉事務所	担当G	施設管理担当	連絡先	921-5151	
部長等名	西村 秀典	課等長名	杉村 幸紀	リーダー	山田 豊樹	担当	中川 裕介	小泉 直之

1.事業概要【Plan】

事業名	道後温泉本館保存修理事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
44121								
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	松山市固有の文化芸術を守り育む							
施策	文化遺産の継承			－	－			
主な取組	道後温泉本館の保存修理		根拠法令					
取組みの柱	道後温泉本館保存修理							
目的・背景	目的:重要文化財道後温泉本館は、改築から120年以上経過し、老朽化、耐震性が懸念されることから、その文化財的価値を維持・継承するため、耐震補強・保存修理工事をするもの。 背景:松山市道後温泉活性化審議会を平成24年5月に設置、また工事中の経済的影響が懸念されることから、平成26年度から文化財や耐震設計に精通した学識経験者を保存修復専門委員に選任し、地盤調査や建物調査の詳細設計を実施するとともに、最新の解析技術を活用した精度の高い耐震補強設計を検討してきた。							
対象・内容	平成31年1月15日から営業しながらの道後温泉本館保存修理工事に着手、総事業費約26億円、令和6年末までの工期を計画している。 前期工事として又新殿・霊の湯棟、南棟東側、玄関棟内部が工事範囲であったが、令和3年7月15日より後期営業を開始した。 令和5年度は後期工事として、神の湯本館棟浴室の補強工事、玄関棟の屋根の銅板葺きの葺き替え工事等を実施。 工事の請負業者である門屋組・成武建設・富士造型特定建設工事共同企業体に対して、道後温泉本館保存修理工事の工事請負費を支出。監理委託している公益財団法人文化財建造物保存技術協会に対して、保存修理工事の監理委託料を支出。令和5年度より道後温泉本館保存活用計画策定業務委託を公益財団法人文化財建造物保存技術協会と契約。							

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	道後温泉事業特別会計	款	温泉事業費	項	温泉事業費	目	施設整備費
事業費／財源		令和4年度	令和5年度	令和6年度		主な 経費 (千円) 【R5 決算】	工事請負費		445,008
予算 (千円)	事業費計	635,749	579,208	404,516			委託料	94,657	
	国費・県費	257,999	233,500	143,527					
	市債	118,000	74,200	24,800					
	その他	259,750	271,508	236,189					
一般財源									
決算 (千円)	事業費計	632,096	539,938			主な 取組 内容 【R5】	神の湯本館棟浴室の補強工事、玄関棟の屋根の銅板葺きの葺き替え工事等を実施。道後温泉本館保存活用計画策定業務委託を公益財団法人文化財建造物保存技術協会と契約。		
	国費・県費	257,999	225,906						
	市債	118,000	64,200						
	その他	256,097	249,832						
	一般財源								
	(執行率)	99%	93%						
人役	正規職員	5.0	4.0	4.0		特記 事項			
	その他								
	合計	5.0	4.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和5年度)	
	目指す方向性	単位							
活動 指標	道後温泉本館保存修理工事進捗率		目標	60	70	100	100	平成31年1月15日から営業しながらの道後温泉本館保存修理工事に着手し、観光や地域への影響に配慮しながら、令和6年末の完了を目指して、保存修理工事は計画通り進捗できている。	
			実績	67.6	87.2				
	累計で増	%	達成率	112.7%	124.6%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業 評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	保存修理工事は、工程表通り進めることができた。							
課題	令和6年末の保存修理工事の完了を目指して、進捗管理を行う。					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	工事は、工程表通り進んでいるため、このまま現状維持できるように進捗管理を行う。